

牧之原市教育・保育施設等事故検証委員会からの提言に係る措置状況について
(令和7年7月)

令和6年3月に牧之原市教育・保育施設等事故検証委員会から提出された再発防止のための提言に関して、事故発生園である幼保連携型認定こども園「川崎幼稚園」から提出された報告書を基に措置状況を点検し、その結果を令和6年8月に同園に対して通知するとともに、取組が不十分であると判断した事項について改善を要請した。

その後の改善の状況について、令和7年6月までに確認した結果等は次のとおり。

確認の結果等

(1) 令和6年度中に改善が見られなかった事項

ア 提言3【安全管理体制の構築】について

令和6年8月の点検結果等
・安全管理委員会を月に一度開催しているが、職員のみで組織されているため不十分である。適切な評価を行うため、提言を踏まえて外部有識者や関係機関等をメンバーに加えることを求めた。併せて、過去の事故事例の検討だけでなく、提言に沿って学校安全計画及び園におけるリスクの評価、適切な対策を講じるためのリスクアセスメントの実施を行うことを求めた。
今回の確認の結果
・危機管理の専門家と契約し、研修講師を依頼するとともに学校安全管理計画の作成や園のリスク評価等において年に数度の助言を仰いでいることを確認したが、毎月開催される安全管理委員会のメンバーは、令和6年度も職員のみで構成されていた。また、会議の内容を確認したところ、6年度は過去の事故事例の検討が主であった。
要請した事項
・令和7年度からは、提言に沿って毎月の委員会において学校安全計画及び園におけるリスクの評価、適切な対策を講じるためのリスクアセスメントを実施していくことを確認したので、専門家の助言を仰ぐことについては継続し、更に毎月の委員会において外部からの意見を聴取するための外部委員を早急にメンバーに加えることを要請した。 ・令和7年7月中を目途に外部委員を登用予定であることを確認した。
【再確認の結果】
・令和7年8月から外部委員を登用したことを確認した。(令和7年8月末)

イ 提言5【職員間の認識の共有】について

令和6年8月の点検結果等
- 令和6年度の職員会議や園内研修の実施状況及び実施予定を確認した。 - 年度初めだけでなく、全職員が参加できるような職員会議等の体制づくりの検討を求めた。
今回の確認の結果
令和6年度も全職員参加の職員会議は、年度当初の1回しか実施できなかった。
要請した事項
- 開催日や開催方法の工夫について助言し、全職員が参加できる体制づくりに努めることを改めて要請した。 - 令和7年度は、年度当初以外に8月に2回目の全職員参加の職員会議を開催することを確認した。
【再確認の結果】 - 令和7年8月に2回目の会議を開催したが、全職員が出席することができなかったことを確認した。 - 全職員参加の会議とならなかったことから、今後は二部制（正規職員の職員会議開催の後、非正規職員を対象とした会議を開催）での会議実施により対応する方針を確認した。（令和7年8月末）

(2) 継続した取組等を求めたもの

ア 提言1【保育者の資質・専門性の向上】について

令和6年8月の点検結果等
- 研修の実施状況について、令和4年11月から令和6年5月までに16回実施し、令和6年6月から令和7年3月までの10回の実施予定を確認した。 - 今後も引き続き研修を実施し、全職員の資質向上を図ることを求めた。
今回の確認の結果
令和6年6月から令和7年3月までに計10回の研修を実施したほか、令和6年度に延べ46人が8回の外部研修を受講したことを確認した。
要請した事項
外部講師を招いての園内研修の継続、別添の取組事例を参考にしての非正規職員の研修受講機会の確保、各種の研修に全職員を積極的かつ偏りのないように受講させることを改めて求めた。

イ 提言2【園運営の組織育成、体制見直し】について

令和6年8月の点検結果等
・令和4年9月以降における園長の選任状況、職員同士の連携や情報共有の取組について確認した。 ・園長、理事長が外部講師の研修を令和5年4月に受講しているが、その後の研修参加等についての記載がなかった。更なる資質向上のため自らの資質について再考する機会を持つとともに多くの研修に参加し、その成果を組織の育成に取り入れることを求めた。 ・風通しの良い雰囲気づくりのための取組について、確認する必要があることを伝えた。
今回の確認の結果
・令和6年度において園長が4回、理事長が1回の研修を受講したことを確認した。 ・組織の育成に関しては、園長・副園長・主任と職員とのパイプ役として幼児部と乳児部にそれぞれ副主任を配置し、各クラス担任との連絡体制を整え現場の声を速やかに共有できるようにしたことや、職員会議だけでなく、日々の職員間の対話や意見交換により自分のクラスだけでなく全体の園児について見守りができるよう情報共有をしていることを確認した。
要請した事項
・園長、理事長はリーダーとしての資質向上のための研修の受講を継続するとともに、別添の取組事例を参考に、自園の更なる組織育成に努めることを改めて求めた。

ウ 提言4【安全管理研修の実施と受講機会の確保】について

令和6年8月の点検結果等
・令和4、5年度の安全管理研修の受講機会や他園見学の状況、令和6年度の公開保育の実施予定を確認した。 ・令和6年秋に実施予定の公開保育について、実施後に確認する必要があることを伝えた。
今回の確認の結果
・令和6年度に6回の安全管理研修を延べ38人が受講したことを確認した。 ・令和7年1月に、「運動あそび」をテーマにした公開保育（参加園：14園）を実施したことを確認した。 ・7年度は4回の県内園の見学と、学園が運営する2園との「教育及び保育を見合う機会（見学2回・受入れ2回）」の実施の予定について確認した。

要請した事項
・ 自園の課題について自覚的に見直すため、他園の見学及び見学の受入れにより、「日常の教育・保育の内容をお互いに見合う機会」を増やしていくことを求めた。

エ 提言6【ICTの活用】について

令和6年8月の点検結果等
・ 令和6年5月までには取り組んでおらず、令和6年6月以降の導入予定もないことから、ICT技術を適切に理解し保護者及び職員に対し正確な説明を行うなど、理解をしてもらうための努力をした上での導入の検討を求めた。 ・ 既存システムの適切な運用について確認する必要があることを伝えた。
今回の確認の結果
・ ICT技術についての職員間での理解を深めた上で、導入を検討した。検討の結果、午睡チェックシステムについては乳児の人数等を勘案して、また園外保育等における園児の位置情報把握システムについては園外での活動機会が激減したことによる利用頻度を考慮し、当面は現状の確認体制を継続していくこととなり、導入には至らなかった。 ・ 既存の登降園管理システムについては、適切に運用されていることを確認した。
要請した事項
・ 引き続き他園の導入事例等の情報収集を行い、導入に向けた継続的な検討を改めて求めた。